

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年8月分】

1. 実施した活動の概要・状況

8月は先月に引き続き、かわうち・まりん・びーちの管理を行い、大きな事故やトラブルもなく海水浴期間を終えることができた。「下北むつ湾カードラリー」やインターンシップの受け入れも始めた。また、夏休み期間にかけては、カヤック・SUP体験の予約が多く入ったため、体験のガイドも行った。8月末には、日本ジオパークの全国大会が下北で開催され、ユースセッションを担当した。



海水浴期間中のかわうち・まりん・びーち

（主な活動）

◇カヤック・SUP体験

8月は県の事業で行ったクリアカヤック体験も入れて、計8回ほどの各種体験の予約が入り、実施した。現在、有料の体験はwebサイト等で予約の受付を行っているが、むつ市内や青森市、弘前市、夏休みに帰省してきた方などの多様な地域からのお客様に体験していただいた。



◇8月9日（金）～11月16日（土） 下北むつ湾カードラリー開催

むつ小川原地域・産業振興財団の助成事業の一環として、むつ市海と森ふれあい体験館、むつ来さまい館、北の防人大湊安渡館、道の駅かわうち湖、道の駅わきのさわの計5か所を回って、カードや景品を手に入れるカードラリーを開催した。8月末の時点で、すべてのカードを集めた参加者は100名を超えている。

カードラリーに付随して、カードの配布枚数に応じて海岸に落ちているペットボトルや缶などを地域おこし協力隊が拾う「クリーンアップチャレンジ」というイベントも実施しており、拾った成果を Facebook や Instagram に投稿している。



◇8月31日（土）、9月1日（日） 第14回日本ジオパーク全国大会下北大会 ユースセッション

8月末から9月頭にかけて行われた日本ジオパーク全国大会で、ユースセッションを担当した。ユースセッションは、全国から集まった高校生などの若い世代がジオパークを見て回り、提示されたミッションに挑戦することで、地域について考えたり、新たな仲間の輪を広げたりすることを目的としたものである。今回のユースセッションでは、約20名の高校生が下北自然の家に一泊し、恐山や大間崎、下風呂温泉郷などを見て回った。

台風の影響により、参加者数は当初の半分ほどになってしまったが、地元の高中生と京都や石川、鹿児島など、他県から来た高校生が仲を深め、別れを惜しむ場面も見られ、非常に意義のあるプログラムだったように思う。



2. 翌月（9月）の活動予定

- 7日（土） 脇野沢 かさまい夕市
- 13日（金） しもきたラボ 地域の若手社会人等を対象とした運動会の運営
- 18日（水） インターンシップ成果報告会
- 22日（日） かわうち・まりん・びーち クリーンアップ Day